

➡ 重大な副作用, 薬物動態, 作用時間, COX-2選択性の比較は112~113ページ

➡ インドメタシン, ジクロフェナクナトリウム, エトドラク, メロキシカム, セレコキシブ, アセトアミノフェンの比較は114~117ページ

分類	サリチル酸系	アントラニル酸系	プロピオン酸系		プロピオン酸系		
一般名	アスピリン	メフェナム酸	イブプロフェン		ナプロキセン	ロキソプロフェンナトリウム水和物	フルビプロフェンアキセチル
商品名 規格 (製薬会社)	アスピリン 未 1g (各社*1)	ボンタール錠・散・細粒・ カプセル・シロップ 錠 250mg 力 250mg 散 500mg/g 細 985mg/g 注 32.5mg/mL (第一三共)	ブルフェン錠・顆粒 顆 200mg/g 錠 100mg, 200mg (科研)		ナイキサン錠 錠 100mg (田辺三菱=田辺販売)	ロキソニン錠・細粒 錠 60mg 細 100mg/g (第一三共)	ロピオン静注 注 [静注] 50mg/5mL (科研)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 低用量では血小板凝集抑制作用 高用量では解熱・鎮痛・消炎作用 COX-1とCOX-2を不可逆的に阻害 	<ul style="list-style-type: none"> 強い鎮痛作用 中枢性の鎮痛作用と末梢性の消炎作用を有する 	<ul style="list-style-type: none"> 小児に使用可能 		<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍熱に有効 抗血小板作用あり 速効かつ持続性のある鎮痛効果を有し, BID投与可能 	<ul style="list-style-type: none"> プロドラッグのため胃腸障害が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 効果発現が速やか 日本で唯一承認されている注射剤
効能・効果 (右記疾患等における消炎・解熱・鎮痛)	関節リウマチ	○	×	○	○	○	×
	変形性関節症	○	注以外	×	○	○	×
	肩関節周囲炎	関節周囲炎	×	×	○	○	×
	神経痛, 神経炎	症候性神経痛	注以外: 症候性神経痛	○	×	×	×
	頭痛	○	注以外 (他剤無効の場合)	×	×	×	×
	腱・腱鞘炎	×	×	×	○	×	×
	頸肩腕症候群	×	×	頸腕症候群	○	○	×
	強直性脊椎症(炎)	○	×	×	○	×	×
	背腰痛	腰痛症	注以外: 腰痛症	○	腰痛症	腰痛症	×
	外傷後	捻挫痛, 打撲痛	注以外	○	○	○	×
	手術後	○	注以外	○	○	○	○
	月経痛	○	注以外	月経困難症	月経困難症	×	×
	歯痛	○	注以外	×	×	○	×
急性上気道炎	○	○	○	×	○	×	
その他	川崎病, 関節痛, 痛風(による痛み, リウマチ熱, 結合織炎, 筋肉痛)	注以外: 副鼻腔炎, 分娩後疼痛	関節炎, 関節痛, 紅斑, 子宮付属器炎		痛風発作, 帯状疱疹, 抜歯後, 口腔外科小手術後	抜歯後	各種がん
用法・用量	1回0.5~1.5g, 1日1.0~4.5g ※急性上気道炎, 川崎病は添付文書参照	注以外: 1回500mg, その後6時間毎に1回250mg ※急性上気道炎および注は添付文書参照	1日600mg (小児: 5~7歳200~300mg, 8~10歳300~400mg, 11~15歳400~600mg), 分3 (空腹時は避ける) ※急性上気道炎は添付文書参照		1日300~600mg, 分2~3 ※痛風発作, 頓用時, 外傷後, 術後初回は添付文書を参照	1回60mg, 1日3回。頓用: 1回60~120mg ※急性上気道炎は添付文書参照	1回50mgをできるだけゆっくり静注 必要に応じて反復投与
警告	×	×	×	×	×	×	×
禁忌	消化性潰瘍	○	○	○	○	○	○
	アスピリン喘息	○	○	○	○	○	○
	重篤な血液異常・肝障害・腎障害・心機能不全	○ (川崎病に使用する場合については, 「心機能不全」の記載なし)	○	○	○	○	○
	重篤な高血圧症	×	○	○	○	×	○
	妊婦・妊娠可能性	出産予定日12週以内の妊婦	妊娠末期	妊娠後期	妊娠後期	妊娠末期	妊娠後期
	成分過敏症	本剤, サリチル酸系製剤	本剤	本剤	本剤, 他の非ステロイド性消炎鎮痛薬	本剤	本剤
	薬剤投与中	×	×	ジドブジン	×	×	エノキサシン水和物, ロメフロキサシン, ノルフロキサシン, プリフロキサシン
	その他	出血傾向 (川崎病に使用する場合)	過去に本剤により下痢	×	×	×	×
原則禁忌	×	×	×	×	×	×	

*1 比較一覧表は, アスピリン「バイエル」の添付文書(第5版, 2014年1月改訂)およびインタビューフォーム(第3版, 2012年2月改訂)をもとに作成